

音	絵札	読み札	ポイント	解説
ま		松山の 未来のこどもへ 本の森	こども本の森 松山	坂の上の雲ミュージアムの設計者である建築家の安藤忠雄氏から坂の上の雲ミュージアムに『こども本の森』を整備し、寄付をしたい」という提案があり、安藤忠雄建築研究所と協定を締結し、整備に向けて準備を行っています。※令和7年7月オープン予定です。
み		ミュージアム 小説の世界へ 飛び込もう	坂の上の雲ミュージアム	フィールドミュージアム構想の中核施設として、平成19年4月28日に開館しました。当館では小説に描かれた主人公3人の足跡や明治という時代に関する様々なイベントを企画し、毎年テーマを変えて展示を行っています。
む		むかし 第五十二国立銀行 いま伊予銀	第五十二国立銀行跡	第五十二国立銀行は、現在の伊予銀行の前身で、明治11年に誕生しました。正岡子規の叔父である大原恒徳も設立に大きく関わり、支配人をつとめました。恒徳は子規の後見人で、子規が頼りにした相談相手でした。
め		明教館 みんなで学んだ 稽古場所	明教館	明教館は文政11年、11代藩主松平定通が二番町に藩士の文武稽古所として建てた藩校の講堂です。昭和12年5月に松山東高校敷地内の現在地に移築されました。
も		もったいない 茶碗は一つで 好古さん	秋山好古のエピソード	真之が上京した際に、好古は佐久間という元武士の屋敷に下宿していました。久しぶりに兄弟でご飯を食べましたが、好古の暮らしはとても質素で、茶碗は一つしかありませんでした。一つの茶碗で兄弟が交互にご飯を食べていたそうです。